

3月19日・埼玉県浦和市に集合(手前1列目は日本災害医療薬剤師会のメンバー、筆者は右から2人目)。後列はボランティアの移送を担当したNPO法人のメンバー



東日本大震災ボランティア報告

アサヒ薬局・長野県飯田市、
日本災害医療薬剤師学会

細田 ひとみ

【今回の活動目標】

今後の薬剤師による継続的医療支援がスムーズにいくような基

盤作りをする。

【今回の活動内容】

医薬品メーカーからの支援物資の搬入。支援物資の医薬品リスト作り、避難所配布のための箱詰め準備、搬出。避難所の衛生状況の

【活動結果】

震災10日後で物資の不足が目立っていたので、作業面で本学会の組織力は十分発揮できたと思う。とにかく、移動のためのガソリンがないのがネックとなった。今回は宮城県薬剤師会のバックアップがあり、どうにか近場の避難所には行くことができた。震災後10日ほど経過した頃だったので、徐々に緊張が緩み、疲れが表面化する時期だった。インフルエンザ・胃腸炎にかかる方がちらほら出始めていた。

自衛隊救護班の方の話によると、津波の影響と花粉症の影響もあり、アレルギー症状を訴える方が多いようだった。入浴もままならないため、海水を浴びたまま衣服も思うように替えられない状況は相当辛いことが想像された。また、断水が続いている避難所が多く、下水処理も故障したままだったので、各避難所のトイレの衛生状態もよくなかった。

特に山元町は津波で家を流された方が多く、持病の薬を手元に持っておらず、何日も薬をのんでいない方が多くいる状況だった。残念なことに、病院・診療所・薬局も、津波被害を受けており、のんでいた薬のデータがないことも拍車をかけ、医療チームは聞き取り作業に苦慮している、とのことだった。

20日の聞き取り調査結果であがった問題点とその後

- ・ある避難所(亘理高校)で、精神科患者

チェック、避難所の情報収集。

【医療支援の状況】

近隣の開業医が避難所を往診していた。現地の薬局も被災しており、処方箋応需が容易ではない。

往診医からの処方せん発行から、調剤、医薬品が患者に渡るまでのタイムラグがあった。岐阜県JMATが継続的支援をしている避難所があった。看護師協会も支援に入っていたようだが詳細不明。

1人が、断薬による暴力行為をする恐れがあることが発覚→宮城県立精神医療センターと避難所の保健師さんに連絡を取り合ってもらい、21日に入院してもらうことができた。

- ・大人用オムツの不足→兵庫県薬剤師会の方へ伝達

- ・避難所救護所のかぜ薬、便秘薬の不足(亘理小学校避難所)→宮城県薬剤師会に伝達

- ・断水していたが、支援で配給された水が余り気味→宮城県薬剤師会に伝達

【今後の課題】

情報の集約

～問題点は刻々と変化する～

私たちの活動を医療支援の本格的スタートと位置づけて、情報を収集、後続へつなげていきたかったが、その収集方法と伝達方法が確立できておらず、口頭での伝達のみとなってしまった。実際、私たちがしてきた活動も現場のニーズに即していたか疑問は残る。

今後は、支援者が活動終了後、得た情報を母体となる各都道府県薬剤師会にフィードバックした方がよい。これにより、情報が一元化でき、後続の支援者にも正確かつ個々に対応し得る情報として生かせる。

そのためには、避難所・地区へもっと薬剤師を送り込んで、現場の聞き取り調査をさせ、個々のニーズを引き出すべきと考える。でないと、いつまで経っても刻々と変わる現場のニーズに対応できない。ただ、移動手段の問題が解決できれば、だが。

【派遣期間】2011年3月19～21日

【派遣場所】宮城県亘理町・山元町・仙台市(本部：宮城県薬剤師会会館)

【派遣団体】日本災害医療薬剤師学会

【日程】

19日

22:00 埼玉県浦和市、集合。

23:00 出発。

20日

7:00 宮城県薬剤師会館(宮城県仙台市)に到着。待機。

10:30 薬剤師会館の薬の仕分け。

11:30 薬剤師会館を出発→避難所へ移動。

13:00 亘理町役場に到着。6カ所の避難所に配布、保健師さんに現状の調査。

16:00 山元町役場に到着。4カ所の避難所に配布。

17:30 配布終了。宮城県薬剤師会館へ移動。

18:30 仙台東部有料道路で会館に到着。

19:00 東北自治総合研修センター到着、自衛隊からの医薬品支援物資の受け入れ。

20:00 ミーティング、夕食。

22:00 解散。

21日

7:00 起床。

8:20 自衛隊車が到着。協力して、石巻行きの荷物の搬出。

9:00 県薬行きの荷物を搬出。

9:50 県薬行きのOTCを搬出。

10:00 自治総合研修センター→宮城県薬剤師会館へ移動。

10:30 宮城県薬剤師会館に到着。OTCの搬入、これら医薬品等のリスト作り、薬効別に整理、使用方法を記載した用紙を箱に添付。

12:00 昼食、待機、本日から支援の兵庫県薬剤師会の方と情報交換。

14:00 石巻高校行きのOTC等の箱詰め、搬出。

15:00 活動終了。宮城県薬剤師会館を出発。

21:00 埼玉県浦和市到着。解散。

ver. Future

～つねに、一歩先へ～

東日本大震災により被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

株式会社マツモトキヨシでは、薬剤師の新卒採用および中途採用を継続して行っておりますので、

応募者の皆様も、応募をご検討中の皆様もご安心ください。

当社では、採用選考の日時・場所および勤務地域において最大限考慮させていただきますのでお気軽にご相談ください。

被災地域の一日も早い復興と、被災された方々の健康を心よりご祈念申し上げます。



薬剤師(新卒・中途)募集中!

■会社概要

社名	株式会社マツモトキヨシ
事業概要	ドラッグストアおよび保険調剤薬局のチェーン店経営
本社	〒270-8501 千葉県松戸市新松戸東9-1
創業	1932年12月26日
設立	1954年1月8日
代表	代表取締役社長 松本 清雄
以下、マツモトキヨシホールディングス概要 (2010年3月)	
資本金	210億8,600万円
売上高	3,930億700万円
従業員数	11,000名(正社員換算)
店舗	全国42都道府県 1,176店舗 (2010年4月1日現在)

株式会社マツモトキヨシ

〒270-8501 千葉県松戸市新松戸東9-1

問合先:人事部採用課

<応募者専用フリーダイヤル>

0120-047-300

http://www.r-matsukiyo.com/

